

秋の朝

高一 小板橋清治

よく空晴れた。或朝兄さんと田圃の方へ新し
い。空気を吸ひに行つた。道傍の稲はたつを
りと實つて黄金の海の様である。其の上を
白い。薄し。霧が掩つて居る。太陽が上るの
で。あろう。東の方。眞紅になつて来た。風
を。さげ。秋の半を告げ。顔である。鳥が二三羽
西の方へ飛んで行く。又。一。涼風が氣持
よ。く。吹。き。わ。たり。田圃を。掩。つ。て。居。薄霧が。ふ
なり。く。消。去。り。東の山。のか。げ。より。は。眞紅
とな。陽。が。其。の。雄。大。な。体。を。あ。ら。わ。した。と。す。る
と。今。ま。で。畔。に。止。つ。て。居。た。村。雀。が。ぱ。つ。と。一。度
に。飛。立。つ。た。草。の。上。に。露。玉。が。き。ら。ぱ。つ。と。と。光
つ。て。見。え。る。二。三。人。の。百。姓。が。す。ぱ。く。く。と。う
ま。さ。う。に。煙。草。を。ふ。か。し。な。が。ら。さ。く。く。と
實。つ。た。稲。を。見。て。こ。く。と。し。て。行。き。過。ぎ。る。
後。の。方。で。牛。乳。配。達。の。車。の。音。が。し。る。ど。こ
か。ら。と。も。な。く。勇。ま。し。い。朝。鳥。の。鳴。く。聲。が。聞
える。日。は。も。う。余。程。上。が。つ。て。居。る。